

## 各 位

会 社 名 株式会社 倉 元 製 作 所  
代 表 者 名 代表取締役社長 鈴 木 聡  
( JASDAQ ・ コード 5 2 1 6 )

問合せ先

役職・氏名 取締役経営企画室長 田 村 達 朗  
電 話 0228 32 5111

## SCHOTT ( ショット ) 社との合併会社設立契約調印のお知らせ

当社は、平成 17 年 11 月 23 日の臨時取締役会において、ドイツのマインツに本社をおく世界的な特殊ガラスメーカーである SCHOTT AG 社 ( 以下「SCHOTT 社」という。 ) と TFT 用大型ガラス基板加工の合併会社を韓国において設立する契約を承認し、11 月 24 日に韓国のソウルにおいて契約調印を行いましたのでお知らせいたします。

## 1 . 合併会社設立の背景

当社のメイン市場である液晶ディスプレイ ( LCD : Liquid Crystal Display ) 用ガラス基板市場では、日本・韓国・台湾における大型 LCD テレビ用パネルの生産拡大により、TFT 用大型ガラス基板に対する需要拡大が続いております。

当社は、こうした大型ガラス基板の受注拡大を図るべく、これまで大型ガラス基板加工装置や加工技術の開発に先行投資してまいりました。しかし、ガラス基板が大型化するのに伴い、輸送コストや輸送中の不良発生リスクを含めたロジスティックリスクの低減と素材から加工までの一貫生産による生産コストの削減や投資コストの早期回収を目指して、ガラスメーカーによる加工の内製化と現地生産化の動きが強まり、当社の大型ガラス基板加工事業は大きな見直しを迫られておりました。

一方、SCHOTT 社は韓国において TFT 用大型ガラス基板市場への新規参入を計画する中で、大型ガラス基板加工技術を有する会社とのパートナーシップ構築を検討しておりました。

当社は、SCHOTT 社とのパートナーシップ構築により韓国において大型ガラス基板に特化した合併事業を行うことは、成長性が高い大型ガラス基板市場への参入による事業の更なる拡大と収益基盤の強化を図ることが可能となり、Win-Win のビジネスモデルを構築できると判断し、今回の合併会社設立契約締結に至りました。

## 2 . 合併会社の事業概要

合併会社は「SCHOTT KURAMOTO Processing Korea Co., Ltd.」として 11 月中に発足予定であり、韓国の梧倉科学産業団地 ( Ochang Scientific Industrial Complex ) において 2006 年末の量産開始にむけた工場建設を行って参ります。当初資本金は 78 億ウォン ( 約 8 億 6 千万円 )、当社が 25%、SCHOTT 社が 75% の出資比率であります。

役員構成は当社 2 名、SCHOTT 社 3 名の 5 名であり、当社からは副社長として常務取締役の菅原賢治が、非常勤取締役として代表取締役社長の鈴木 聡が就任する予定です。

合併会社は、主に韓国の LCD メーカー向けに第 5 世代 ( 「G5」、以下同じ。 ) 以上のガラス基板を加工する会社であります。とりわけ高成長が期待される大型 LCD テレビの生産に使用される第 7 世代 ( 「G7」、以下同じ。 ) のガラス基板を主軸にした事業展開を計画しております。

ガラス基板加工技術についてはライセンス契約に基づき当社が提供いたします。

この合併会社における第 1 フェーズの投資額は、本年と 2006 年を合わせて約 1,170 億ウォン ( 約 120 億円 ) を計画しており、2007 年の生産能力は、G5 と G7 を合わせて月産約 80 千枚を予定しております。尚、第 1 フェーズ以降も、大型ガラス基板の需要拡大に合わせて生産能力を拡大していく計画であります。

液晶パネル生産時の原材料となるガラス基板の大きさを示します。

第5世代は、1000 mm × 1200 mm ~ 1100 mm × 1300 mm

第7世代は、1870 mm × 2200 mm

### 3. 当社のLCD用ガラス基板事業戦略

当社は、国内の生産拠点においてG5以下のガラス基板加工ラインを保有しており、合併会社設立後も外注市場のあるG5以下のガラス基板加工については、多品種のLCD用ガラス基板を加工できるフレキシブルな生産体制を強みに、取引先のニーズに積極的に対応していく所存であります。

今後、韓国でSCHOTT社と協力して大型ガラス基板ビジネスを立ち上げることにより、当社グループにおいて中小型から大型にいたる全てのガラス基板加工をカバーすることが可能となり、今後のLCD市場の成長に伴うガラス基板市場の拡大が当社の収益基盤の強化、ひいては企業価値向上に大きく貢献するものとみております。

合併会社および新工場の概要であります。

|           |   |
|-----------|---|
| 会社名       | SCHOTT KURAMOTO Processing Korea Co., Ltd.  |
| 住所        | < 本社事務所 ><br>Choongchungbook-do Chengju-shi, Sandang-gu, Seo-un-dong, 47-2, Korea<br>< 工場 ><br>梧倉科学産業団地（韓国忠清北道清州郡梧倉面）<br>Ochang Scientific Industrial Complex<br>Choongchungbook-do, Chungwon-gun, Ochang-myun, Kang-ni, 653-3, Korea |
| 合併会社の発足時期 | 2005年11月中   |
| 事業内容      | TFT用大型ガラス基板の表面処理  |
| 資本金       | 当初資本金：78億ウォン（約8億6千万円）   |
| 出資比率      | 当社25%、SCHOTT社75%  |
| 役員        | 5名（当社2名、SCHOTT社は社長を含む3名）<br>当社より下記の2名が役員に就任いたします。<br>副社長：菅原賢治（当社常務取締役）<br>取締役：鈴木 聡（当社代表取締役社長）   |
| 面積        | 敷地面積 164,773 m <sup>2</sup><br>建屋面積 36,745 m <sup>2</sup><br>延べ床面積 44,591 m <sup>2</sup>  |
| 新工場の起工式   | 2005年11月28日   |
| 量産開始時期    | 2006年末（予定）  |
| 事業計画      | 第1フェーズ（2005年～2006年）<br>投資予定額：約1,170億ウォン（約120億円）<br>量産開始：2006年末<br>従業員数：約350名（2006年末）<br>生産能力：G5約40千枚、G7約40千枚（2007年の月産能力）  |

以上

(ご参考)

SCHOTT 社の概要

|                 |   |
|-----------------|---|
| 社名              | SCHOTT AG   |
| 設立              | 1884 年  |
| 所在地             | Hattenbergstr, 10 55122 Mainz, Germany<br>(本社所在地のマインツ市はラインライト・プファルツ州の州都)  |
| 代表者             | Dr. Udo Ungeheuer (Chairman)  |
| 事業内容            | 特殊ガラス基板の開発/製造/販売<br>(事業領域：光学、家電製品、電子部品、FPD、光ファイバー、医療、太陽電池、半導体製造装置など)  |
| 資本金             | 約 6 億 32 百万ユーロ (約 884 億 80 百万円)   |
| 主な財務指標 (2004 年) | 売上高 約 20 億 23 百万ユーロ (約 2,832 億 20 百万円)<br>税引利益 約 46 百万ユーロ (約 64 億 40 百万円)<br>総資産 約 21 億 61 百万ユーロ (約 3,025 億 40 百万円) |
| 従業員数            | 世界 36 ヶ国に約 17,000 名の従業員   |
| その他             | SCHOTT AG 社はカール・ツァイス財団の一員であり、光学機器メーカーのカール・ツァイス社とは兄弟会社の関係にあります。  |

1 ユーロ：140 円換算